

金融広報アドバイザーとは、金融広報委員会からの委嘱を受け、各地において暮らしに身近な金融経済等に関する勉強会の講師を務めたり、生活設計の指導や金融・金銭教育などを行う金融広報活動の第一線指導者です。

金融広報
アドバイザーの
紹介

地域密着のアドバイザーとして 天草で金融知識の普及・啓発を

「最新情報をお届けする」「本物を見せる」ことをモットーに、金融知識の普及・啓発に取り組み橋野君佳さん。愛する地元の方々が金で悩まないようにと、地元の言葉で講演し、地域密着の活動に取り組んでいます。

* * *

橋野さんが金融広報アドバイザーになった当初は、まだ県下にアドバイザーも消費生活センターの数も少なく、県全域を飛び回って金融広報活動を行っていた時期もありました。現在はアドバイザーの数も増えたこともあり、地元天草での活動が中心となっています。

「天草は五つの橋でつながっていますが、都会からは遠く離れた島です。情報社会とはいえ、物理的な距離は、『消費者トラブル』や『悪質商法』などに対する意識も遠くしてしまいがち」というのが、橋野さんがアドバ



平成5年、地域の相談員としてボランティア活動を始めたことをきっかけに、「消費生活の知識は社会に必要な情報」という認識を深め、平成9年に消費生活コンサルタントの資格を取得。平成11年から金融広報アドバイザーとして地域での金融知識の普及・啓発活動に貢献。その功績が称えられ、平成23年には金融庁と日本銀行より、「2011年度金融知識普及功績者」として表彰を受ける。

立てています。

「最近の社会の状況について、変化のスピードが早いことや、私たちが体験を通して学んできたことが必ずしも通用しなくなっていることを伝えていきます。例えば、携帯電話に決済機能があることを知らない人も多い。そんな最新の情報や現在の悪質商法を分かりやすく伝えることが、私の役割です。」

橋野さんの活動は、地域の社会福祉協議会からの依頼で、高齢者や子どもを対象に消費生活について講演することが大半を占めます。特に高齢者の講座はリピーター率が高く、「大事なポイントを復習しながら、新しい情報を伝えるメリット」を活かし、知識の定着や意識の向上に役

地元天草で起こったことだと知ると、より身近な問題として意識してもらえます」と橋野さん。「天草の人は開放的で人懐っこく他人を信じやすい。それは美徳である反面、とても危険なことです。『販売員が都会で暮らしている息子によく似ていたから思わず買ってしまった』と嬉しそうにしていた高齢者が、実は悪質商法に騙され不当に高価な商品を買ってしまったと知ると、本当にショックを受けたと聞きます。そんなとき、本人が気づいていないので、適切な情報を伝え、人を騙す人もやっつけてしまおうと地域の人に啓発していきたい」と橋野さん。

消費者自身が情報を取り込む努力をする大切さを、繰り返し地域の皆さんに伝えていくことが使命と話す橋野さん。受講者から、「今日は聞きに来て良かった」という声が聞けることを何よりの生きがいとしています。

熊本県金融広報委員会
金融広報アドバイザー

橋野君佳